

補綴学基礎（歯・歯周組織の疾患1）

3 年次 前学期	授業科目責任者：池見 宅司（保存修復学） ユニット責任者：會田 雅啓（クラウンブリッジ補綴学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	(クラウンブリッジ) 3 年次前期のクラウンブリッジ補綴学実習において、OSCE（オスキー）課題に関連した実習を行うが、そのために必要な基礎的知識を養う。 (有床義歯補綴学1) 無歯顎患者の損なわれた QOL の向上を図るために必要な総義歯補綴による再建とリハビリテーションの知識・技能・態度を習得する。 (有床義歯補綴学2) 歯科補綴学の根幹は咬合にある。顎咬合機能治療学講座で行う補綴学基礎は、顎口腔機能診査に対する評価法の理解と習得、さらには心理的要因とのかかわりについて考察を加え、歯科医学における顎口腔の機能的意義の理解を深める。
授業担当者	【クラウンブリッジ補綴学】會田雅啓, 小林 平, 大村祐史, 若見昌信, 田中孝明, 後藤治彦, 齋藤美佳, 加藤仁美, 田部井直子, 楠瀬有紗, 金子珠美, 桜田俊彦, 増田美樹子, 小滝美佐子 【有床義歯補綴学】河相安彦, 木本 統, 成田紀之, 飯島守雄, 大久保昌和, 伊藤誠康, 石井智浩, 神谷和伸
教科書	(クラウンブリッジ) クラウンブリッジ補綴学 第4版 医歯薬出版 (有床義歯補綴学) 無歯顎補綴治療学 第2版・細井紀雄, 平井敏博, 大川周治, 市川哲雄 編著・医歯薬出版, 配布資料(顎口腔機能の診査表・プリント)
参考図書	(クラウンブリッジ) 続最新歯科補綴アトラス 医歯薬出版, スタンダード歯科理工学 第4版 学建書院 (有床義歯補綴学) パウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版・田中久敏, 古谷野潔 ほか監訳 / Geroge A.Zarb ほか編著・医歯薬出版, Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients・Feine/ Carlsson・(Quintessence), Okeson TMD (医歯薬出版), よくわかる顎口腔機能 (医歯薬出版)
実習器材	(クラウンブリッジ) クラウンブリッジ補綴学 - 実習に準ずる。 (有床義歯補綴学) なし
評価方法 (EV)	(クラウンブリッジ) 小テスト(30%)と定期試験(70%)によって評価する。授業態度および出欠席も評価に加味する。 (有床義歯補綴学1) 平常試験(30%) 定期試験(70%) 出席状況, webclass の自学自習を加味する (有床義歯補綴学2) レポート 20%, 出席 10%, 実習態度 10%, 定期試験 60% による総合評価
学生への メッセージ オフィスアワー	(クラウンブリッジ) 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問を持ったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。 (有床義歯補綴学1) 高齢者の生活の質(QOL)向上に総義歯補綴学は重要な役割を果たしていることが近年明らかになっています。今回の学習により多くの症例に対応できる基本を習得することを期待します。 (有床義歯補綴学2) 顎口腔機能学の把握には、解剖学, 生理学の知識を整理しておくこと, より理解しやすいです。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月8日(金) 1時間 11:00 ~ 11:50	講義: クラウンブリッジ補綴学の定義 クラウンの種類・特徴 各種支台歯形態	【準備学習項目】 ・クラウンの支台歯形態と治療における全般について学ぶ。 【講義】 ・クラウンの臨床的意義と重要性を理解する。 ・クラウンの種類と特徴を述べることができる。 ・クラウンの適応症を述べることができる。 ・各種クラウンの支台歯形態を理解することができる。 LS: 301 教室, マルチメディア < F-3-4)-(1)- / 各 - -4-A,C >	會田 雅啓
4月8日(金) 1時間 13:00 ~ 13:50	講義: 研究用模型 エックス線検査	【準備学習項目】 ・エックス線撮影ならびに研究用模型の重要性を学ぶ。 【講義】 ・研究用模型における診査項目を述べることができる。 ・エックス線写真の重要性を理解する。 LS: 301 教室, マルチメディア < F-3-4)-(1)- / 各 - -2-B,C >	小林 平
4月15日(金) 1時間 11:00 ~ 11:50	講義: 歯冠補綴診療の流れ 補綴前処置 支台歯形成 歯肉圧排	【準備学習項目】 ・クラウンの治療計画から実際の治療の流れを学ぶ。 【講義】 ・治療計画に基づいた診療の流れを組み立てられる。 ・治療計画に基づいた前処置ができる。 ・有髄歯の特徴を理解する。 ・麻酔に対する注意を述べることができる。 ・支台歯形成の手順, 注意事項を述べることができる。 ・歯肉圧排について述べるができる。 LS: 301 教室, マルチメディア < F-3-4)-(1)- / 各 - -2-D,F, 各 - -4-C >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月15日(金) 1時間 13:00～13:50	講義： クラウンの印象採得	【準備学習項目】 ・クラウンの印象採得に使用する印象材について学ぶ。 【講義】 ・歯冠補綴に用いる印象材の種類について述べるができる。 ・各種印象法の特徴を述べるができる。 ・正確な印象採得を行うための理論を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-3-4)-(1)- /各 - -4-F >	大村 祐史
4月22日(金) 1時間 11:00～11:50	講義： 咬合採得	【準備学習項目】 ・クラウンの咬合採得とチェックバイト法を学ぶ。 【講義】 ・少数歯欠損の場合の咬合採得法を述べるができる。 ・多数歯欠損の場合の咬合採得法を述べるができる。 ・フェイスボウトランスファーの方法と意義を理解する。 ・チェックバイト法と意義を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-3-4)-(2)- /各 - -4-H >	同上
4月22日(金) 1時間 13:00～13:50	講義： 咬合採得	【準備学習項目】 ・クラウンの咬合採得とチェックバイト法を学ぶ。 【講義】 ・少数歯欠損の場合の咬合採得法を述べるができる。 ・多数歯欠損の場合の咬合採得法を述べるができる。 ・フェイスボウトランスファーの方法と意義を理解する。 ・チェックバイト法と意義を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-3-4)-(2)- /各 - -4-H >	同上
5月6日(金) 1時間 11:00～11:50	講義： 作業模型	【準備学習項目】 ・作業模型の作製と種類について学ぶ。 【講義】 ・作業模型の重要性を理解する。 ・作業模型の種類と特徴を理解する。 ・作業模型の具備条件を述べるができる。 LS:301教室,マルチメディア < F-3-4)-(1)- /各 - -4-G >	若見 昌信
5月6日(金) 1時間 13:00～13:50	実習： 暫間被覆冠	【準備学習項目】 ・実習書の暫間被覆冠作製の項目について確認しておく。 【実習】 ・暫間被覆冠の製作について患者に説明できる。 ・正しいポリクラウンの選択ができる。 ・正しい暫間被覆冠を製作することができる。 LS:第5実習室 < F-3-4)-(1)- /各 - -4-E >	會田雅啓 大村祐史 田中孝明 小林平 若見昌信 後藤治彦
5月13日(金) 1時間 11:00～11:50	講義： 作業模型の咬合器付着	【準備学習項目】 ・作業模型の咬合器付着について学ぶ。 【講義】 ・フェイスボウトランスファーによる上顎模型の付着ができる。 ・チェックバイトによって下顎模型の付着ができる。 ・咬頭嵌合位での咬合器付着ができる。 LS:301教室,マルチメディア < F-3-4)-(2)- , /各 - -4-I >	若見 昌信
5月13日(金) 1時間 13:00～13:50	講義： 顎運動 咬合器	【準備学習項目】 ・顎運動と咬合器の運動について学ぶ。 【講義】 ・顎関節の構造を知る。 ・咀嚼筋、下顎運動を理解する。 ・顎路、顎路傾斜角を理解する。 ・咬合器の意義を述べるができる。 ・咬合器の種類と特徴を述べるができる。 ・下顎運動と咬合器の関係を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-3-4)-(1)- , F-3-4)-(2)- , /各 - -4-I >	同上
5月20日(金) 1時間 11:00～11:50	講義： 顎口腔機能の臨床生理(1)	・顎口腔機能の診査法を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-2-2)- , F-2-4)-(8)- > < 必 -6-B-b, 総 - -3-A,C,F, 総 - -1-H,I,J, 各 - -2-B >	成田紀之 石井智浩
5月20日(金) 1時間 13:00～13:50	講義： 顎口腔機能の臨床生理(2)	・咬合の診査法とその評価法を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-2-2)- , F-2-2)-(8)- > < 必 -6-B-b, 必 -10-G-a,b,c, 総 - -3-B,E, 総 - -1-E, 各 - -2-B >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月27日(金) 1時間 11:00～11:50	講義: 顎口腔機能の臨床生理(3)	・顎関節の診査法を理解する。 ・顎関節の触診法を理解する。 ・顎関節の雑音について理解する。 ・咀嚼筋の診査法を理解する。 ・咀嚼筋の触診法を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-2-1)- , F-2-4)-(4)- > < F-2-1)- , F-2-4)-(8)- > < 必-6-B-h, 必-9-B-h, 必-11-D-c, 必-14-B-k, 総- -3-C, 各- -()-3-M > < 必-6-B-d, 必-9-B-i, 必-10-F-e, 必-11-D-d, 総- -3-A >	同上
5月27日(金) 1時間 13:00～13:50	演習: 顎口腔機能の臨床生理(4)	・RDC-TMDプロトコルを理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-2-4)-(8)- > < 必-11-D-c,d, 総- -1-J, 各- -2-A,B >	成田紀之 大久保昌和
6月3日(金) 1時間 11:00～11:50	実習: 顎口腔機能の臨床生理(5)	・口腔内を診査できる。 ・咬合を診査できる。 ・咬合干渉を診査できる。 ・デンタルプレスケールによる咬合診査ができる。 ・デンタルプレスケールによる咬合評価ができる LS:第5実習室 < F-2-4)-(8)- > < 必-10-G-a,b,c, 総- -1-E, 各- -2-B >	成田紀之 飯島守雄 伊藤誠康 大久保昌和 石井智浩 神谷和伸 井上正安 小出恭代 義隆淑子
6月3日(金) 1時間 13:00～13:50	実習: 顎口腔機能の臨床生理(6)	・顎関節を診査できる。 ・咀嚼筋を診査できる。 ・頭蓋頸部を診査できる。 ・口腔習癖を診査できる。 LS:第5実習室 < F-2-4)-(8)- > < 必-10-B-a,b, 必-10-F-b, 必-11-D-c,d, 総- -1-D,J, 各- -2-A,B >	同上
6月10日(金) 1時間 11:00～11:50	講義: 顎口腔機能の臨床生理(7)	・顎口腔機能と心理的要因とのかわりを説明できる。 LS:301教室,マルチメディア < F-4-5)- , > < 必-14-B-O, 総- -2-I, 各- -()-2-H, 各- -1-E >	成田紀之 石井智浩
6月10日(金) 1時間 13:00～13:50	演習: 顎口腔機能の臨床生理(8)	・心理的要因を評価できる。 ・心理テストを評価できる。 LS:301教室,マルチメディア < F-4-5)- , > < 総- -5-C, 各- -1-E >	同上
6月17日(金) 1時間 11:00～11:50	講義: 顎口腔機能の臨床生理(9)	・顎口腔機能における感覚の評価法を理解する。 LS:301教室,マルチメディア < F-2-2)- , F-2-4)-(8)- > < 必-6-B-b, 必-9-B-e,i, 総- -3;-3-E,F, 各- -1-A,B,F >	同上
6月17日(金) 1時間 13:00～13:50	講義: 顎口腔機能の臨床生理(10)	・顎機能の評価について総括。 LS:301教室,マルチメディア < F-2-2)- , F-2-4)-(8)- > < 必-6-B-b, 総- -3-A,B,C,E,F,G, 総- -1-E,H,I,J,L,M, 各- -2-B >	同上
6月24日(金) 1時間 11:00～11:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 無歯顎の病因 歯の寿命・総義歯装着者数	講義 (準備学習) 教科書:歯の寿命 総義歯装着者数までをまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 無歯顎の病因について説明できる 老化について説明できる 歯の寿命を説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- / 総- -6-A, B	河相安彦
6月24日(金) 1時間 13:00～13:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 無歯顎の病態	講義 (準備学習) 教科書:無歯顎の病因と病態までをまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 無歯顎顎堤の垂直的・水平的な経時変化を説明できる 顎堤吸収に関わる因子を説明できる 顎堤粘膜と加齢に伴う変化を説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- / 総- -6-A, B, 総- -12-A	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月1日(金) 1時間 11:00～11:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 加齢に伴う変化1)～3)	講義 (準備学習) 教科書:加齢に伴う変化1)～3)までをまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 顎関節と加齢に伴う変化を説明できる 咬合・咀嚼・発語・嚥下に関する筋を説明できる 唇・頬を形成し,動かす筋について説明できる 舌筋について説明できる 軟口蓋を形成し,動かす筋について説明できる 筋の加齢変化について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)-, 総- -6-A, B	同上
7月1日(金) 1時間 13:00～13:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 加齢に伴う変化4)	講義 (準備学習) 教科書:加齢に伴う変化4)をまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 咬合・咀嚼・嚥下の調節機構を説明できる 健常有歯顎者における下顎の運動範囲を説明できる 下顎位について説明できる 下顎の基本運動について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- F-4-3)- 総- -6-B	同上
7月8日(金) 1時間 11:00～11:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 加齢に伴う変化4)	講義 (準備学習) 教科書:加齢に伴う変化4)をまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 加齢および歯の喪失による下顎運動の変化を説明できる。 側方運動と咬合様式について説明できる 加齢に伴う中枢神経系の変化について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- F-4-3)- 総- -12-A	木本 統
7月8日(金) 1時間 13:00～13:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 加齢に伴う変化5)～6) 咀嚼障害	講義 (準備学習) 教科書:加齢に伴う変化5)～6)までをまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 唾液と加齢に伴う変化について説明できる 味覚障害について説明できる 咀嚼障害について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- F-4-3)- 総- -2-I-A	同上
7月15日(金) 1時間 11:00～11:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 嚥下障害	講義 (準備学習) 教科書:加齢に伴う嚥下障害をまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 嚥下障害について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- 総- -2-I-A, 各- -1-B	同上
7月15日(金) 1時間 13:00～13:50	1 総論 無歯顎の病因と病態 構音障害	講義 (準備学習) 教科書:加齢に伴う構音障害をまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 構音障害について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- 総- -2-I-A, 各- -1-C	同上
7月22日(金) 1時間 11:00～11:50	平常試験	6月24日および7月15日の範囲で試験	河相安彦 木本統
7月22日(金) 1時間 13:00～13:50	1 総論 補綴装置としての総義歯 装着者に見られる主要症候	講義 (準備学習) 教科書:総義歯装着者の症候をまとめる (復習):webclassの演習問題 (SBOs) 総義歯の構成要素の名称を列記できる 総義歯の維持・支持・安定に関与する因子を説明できる 総義歯装着者の症候を類別することができる 総義歯装着者の示す症候について説明できる LS:301教室,マルチメディア F-3-4)-(3)- 各- -3-B,D	河相 安彦